

研究室報告

- ①今年度は、新任教員として堀内俊郎教授を迎えた。堀内教授の専門分野はインド仏教思想であり、「仏教思想概論A B」「サンスクリット語II A B」などを担当する。
- ②今年度の新入生歓迎行事として、四月ガイダンス時に卒業生の講演をお願いし、堤春枝氏と大野雛子氏が登壇された。
- ③今年度は学科に係する特別講義としては、四月二十五日にストラスブール大学（フランス）のGuillaume DUCCER教授とKim. Kyon-kon准教授が、それぞれ“Eugene Burnout (1801-1852) and European Buddhism”、“The prototype of the ancient *rsi* and the constructed Buddha figure in *dhya*na”と題して、また十一月一日日にはバナーラスヒンドゥー大学（インド）のSiddharth Singh教授が「日本の神々の体系に反映された日印文化の混淆」と題して実施された。
- ④二〇二三年九月五日から十一日まで実施された海外文化研修（台湾・高雄・台南・台北）には、川田健助教、大田悦子英米文学科准教授の二名の引率のもと、十八名の学生が参加した。台湾を南北に移動することによって、台湾の多層的な歴史や文化に触れることができた。また、国立台北大学歴史学系山口智哉助理教授、本学科白井順教授の協力の下、国立台北大学との交流会を開催した。関係者各位に厚く御礼申し上げます。
- ⑤今年度末をもって、野間信幸教授・橋本泰元教授・小路口聡教授が定年退職された。三名の先生方の長年のご指導に感謝申し上げます。
- ⑥本年度、大学院（インド哲学仏教学専攻）の公開研究発表会を春学期（七月二十六日）と秋学期（十一月二十九日）に開催した。春学期は以下の発表があった。
- 新入生研究計画は武本弥生【M1】、李晶【M1】、ロサン・グンチョク【M1】、特別学生の発表は邱麗莎によって行われた。研究発表は三明智達（無量寿経）と（悲華経）における本願文対照研究について【M2】、前田恭介「近代の仏教学と仏教運動とに見るオリエンタリズム的傾向」【M2】、空慧「『律苑事規』の諸本と構成及び成立について」【D2】であった。また秋学期は前田恭介「近代日本の仏教界に見るオリエンタリズム」【M2】、森原康暉「宗密『原人論』の思想的立場及び成立背景——従来の『原人論』認識の問題点——」【D1】、崇実「宗泐、如玘撰『金剛般若波羅密経註解』の成立・刊行・流布について」【D2】、星宮康子「ダルマの増減と医療——ユガ説との関連において——」【D3】であった。
- 発表会開始前には、学外講師をお招きし御講演戴いた。講師名所属、講演テーマは以下の通りである。
- 春学期 吉村均先生（中村元東方研究所 専任研究員）「私が

学生時代に受けた指導と現在」

秋学期 宮崎展昌(鶴見大学 准教授)「仏教文献研究として
の大乗経典の個別研究：経典編纂過程と大蔵経に関する探求」
両先生に厚く御礼申し上げます。

⑦ 白山中国学会は、三月二十六日に二十二回、七月二十三日
に第二十三回の研究発表大会を実施、その中で大学院生(中
国哲学専攻)の研究報告・発表が行われた。題目は以下の通
り。

第二十四回…博士前期課程 【M1】王妙華「王心斎の良
知思想——「中正」と「万物一体」をめぐって」、辻大晴「東
野遺稿」収録の文から見る安藤東野の交遊」、張萌芳「一念」
をめぐる思想——朱子学と陽明学——」、【M2】頼晨曦「莊
子」の「遊」の思想と隱遁思想の關係」、方一「李清照詞小
考——歴代詞選における採用情況分析」、博士後期課程 【D
2】永田小絵「小学」と「大学」の間——道德教育の階梯(2)」、
【D3】劉心奕「羅洪先の「万物一体」思想と社会实践」、【D
3】水野あゆ「児童世界について」

第二十五回…博士前期課程 【M1】王浩然「蕭紅の故郷
に対する感情の変化について——『呼蘭河伝』を例として」、
【M2】王妙華「王心斎の万物一体思想——自然性とその継
承——」、辻大晴「『東野遺稿』収録の手紙から見る安藤東野
の交遊」、佐藤瑛「張飛描写における矛盾点」、【D2】永田
小絵「古典と現代をつなぐ翻訳手法の研究——葛兆光著『到

后台看历史卸妆』(仮題『中国史の舞台裏』)の翻訳・訳注の
実践を通して」、【D3】劉心奕「吉水石連洞に関する考察

——江右陽明学者の修業・講学・交遊活動を中心として」、【D
3】水野あゆ「児童世界について」、【D3】志村敦弘「王陽
明思想再考——「見在」という他者に相対する思想として—

また、基調講演は以下の通り。二十四回…野間信幸(本学
科教授)「井上円了の台湾体験を巡って」。二十五回…白井順
(本学科教授)「明治の崎門学派——細野要齋」。

⑧ 本年度のティーチングアシスタントは、黒田祐介、志村敦
弘、福島マシュー、星宮康子、劉心奕(五〇音順)の各氏が
担当した。

⑨ 本年度の卒業論文の提出者は、第I部東洋思想文化学科で
は八三名、第II部東洋思想文化学科では二九名であった。大
学院の修士論文提出者は、中国哲学専攻三名、インド哲学仏
教学専攻一名であった。同博士論文提出者は、中国哲学専攻
一名であった。

本年度の優秀論文に対する褒賞は左記の通りである。

【校友会奨学基金】

学 部 金肇新（Ⅰ部）、松倉愛美（Ⅱ部）

大学院（中国哲学専攻）佐藤瑛

【勸学奨学基金】

学 部 嚴カイエ（Ⅰ部）、該当なし（Ⅱ部）

【田村芳朗奨学基金】

学 部 鎌田翔勸・象田一路・荒井樹音（Ⅰ部）

大学院（該当なし）

二〇二二年度業績(二〇二三年一月～十二月)

伊吹 敦

○研究活動

〈論文〉

「文献に対する認識はいかに更新され、いかなる影響を及ぼすか」敦煌本『六祖壇経』を一例として、『東アジア仏教学術論集』一一、九五～一一六頁、二〇二三年二月

「景德傳燈録」所収「南陽慧忠國師語」の成立と意義」、『東アジア仏教学術論集』一一、二三三～二六六頁、二〇二三年二月

「神會の活躍・貶逐・復権と保唐宗の成立―無住による荷澤宗文献の受容を中心に」、『東洋学研究』六〇、三〇四～二九二頁、二〇二三年三月

「荷澤神會の史的意義の再検討」、『東洋思想文化』一〇、一九二～一九九頁、二〇二三年三月

「再び『金剛經解義』の成立を論ず」、『印度學佛教學研究』七二(一)、二七八～二七一頁、二〇二三年二月

〈翻訳〉

「石刻資料と中国禪宗史研究―唐代在家夫人の新出墓誌を主な分析対象として」(蔣海怒著、単訳、『東アジア仏教学術論集』

一一、二〇二三年二月)

「唐代禪林における喫茶の意味の変化」(蔣海怒著、単訳、『東アジア仏教学術論集』一一、二〇二三年二月)

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

中・日・韓 国際仏教学術大会(幹事・編集委員) / 日本佛教学会(理事、一〇月一日迄) / 東アジア仏教研究会(役員)

/ 日本印度学仏教学会(会員) / 仏教史学会(会員) / 早稲田大学東洋哲学会(会員)

学会発表等

「早期禪宗与知識人―以知識人的禪理解为中心」(二〇二三年八月一日、国際シンポジウム「汉传佛教的文化观念与生活―僧人与文人」、シンガポール、蓮山雙林禪寺)

「再び『金剛經解義』の成立を論ず」(二〇二三年九月三日、印度学仏教学会第七三回学術大会、龍谷大学、オンライン開催)

「初期禪宗史解明のための国際協力の必要性」(二〇二三年一月二八日、国際シンポジウム「中・日・韓 国際仏教学術大会―東アジアにおける仏教交流の歴史と未来」中国福建省福州、鼓山湧泉寺・福建海峽仏教文化交流センター)

「研究プロジェクトへの参加」

井上円了記念研究助成「外国人研究者との連携による東アジア仏教の歴史と思想の解明」(研究所プロジェクト、研究代表者)

井上円了記念研究助成「外国人研究者との連携による東アジア

仏教の歴史と思想の解明」(研究所プロジェクト、研究代表

者)

者)

者)

者)

者)

者)

者)

者)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・東洋思想文化演習・卒論指導⑥（Ⅰ部、通年）

中国仏教史A（Ⅰ・Ⅱ部、春学期）

中国仏教史B（Ⅰ・Ⅱ部、秋学期）

仏教思想特講ⅡA（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春学期）

仏教漢文A（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春学期）

仏教漢文B（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期）

東洋の身体論（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春学期）

近代化と東洋（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期）

東洋大学井上円了研究（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春学期）

一回担当

「井上円了の仏教思想とその影響」（五月二七日）

大学院・東アジア仏教研究ⅠA・仏教学研究指導ⅣA（前期課程、春学期）

東アジア仏教研究ⅠB・仏教学研究指導ⅣB（前期課程、秋学期）

春学期）

仏教学特殊研究ⅢA・仏教学研究指導ⅣA（後期課程、春学期）

春学期）

仏教学特殊研究ⅢB・仏教学研究指導ⅣB（後期課程、秋学期）

秋学期）

○大学管理運営活動

文学研究科インド哲学仏教学専攻長、校友会学生研究奨励基金

運営委員会委員、文学部ホームページ担当委員（東洋思想文化学科）・東洋大学東洋学研究所研究員

○社会的活動

（公益財団法人）中村元東方研究所兼任研究員

川田 健

○研究活動

〈論文〉

「川田健「台湾の修士・博士論文における日本マンガ・アニメ文化研究」コスプレ研究を中心に」、『東洋思想文化』九、東

洋大学文学部紀要七七集、一〇〇（一一七）～七七（一四〇）

頁

〈学外活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会（会員）・日本マンガ学会（会員）・中国古典学会（幹事）・日本詩経学会（会員）・日本漢詩文学会（会員）・日

本中国語教育学会（会員）・コンテツ文化研究会（会員）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法（Ⅰ部）

中国文学講読A・B（Ⅱ部）

中国思想文化演習A・B（Ⅰ部）

漢文訓読法（Ⅰ部）

中国語学演習A・B (Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ)

〈学外担当科目〉

中国語インテンシブⅣ (慶應義塾大学総合政策学部) 春・秋

中国語スキル (思想) (慶應義塾大学総合政策学部) 春

歴史と文明 (慶應義塾大学総合政策学部) 春

サブカルチャーと社会認識 (慶應義塾大学総合政策学部) 秋

坂井 多穂子

○研究活動

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本宋代文学学会 (理事・大会委員会委員長) / 白山中国学会

(理事・会計委員) / 日本中国学会 (会員) / 中唐文学会 (会

員) / 中国文史研究会 (会員) / 日本杜甫学会 (会員・選挙

管理委員)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学 部・レポート・論文制作の技法《春》(Ⅱ部)

中国学概論A (Ⅰ部) 六月一五日〜七月二七日、七回

担当

漢文訓読法《秋》(Ⅱ部)

中国学研究法B (Ⅰ部・Ⅱ部)

中国文学講読A・B (Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ)

東洋思想文化演習ⅡA・B (Ⅰ部)

卒業論文A・B (Ⅰ部・Ⅱ部)

卒業論文《春》《秋》(Ⅱ部)

大学院：中国文学特論ⅡA・B (博士前期課程)

中国哲学研究指導ⅠA・B (博士前期課程)

中国哲学特殊研究ⅣA・B (博士後期課程)

中国哲学研究指導ⅣA・B (博士後期課程)

〈学外担当科目〉

東京大学教養学部「東洋古典学」秋学期

○大学管理運営活動

文学部東洋思想文化学科第二部学科長、東洋大学東洋学研究所

研究員・同運営委員

小路口 聡

○研究活動

〈著書〉

『王龍溪の良知心学——「生機」論という視座——』研文出版、

二〇二三年一月二〇日

〈訳注〉

韓夢鵬『新安理學先覺會言』訳注 其の二、『白山中国学』通

巻二九号、二〇二三年三月、二一〜四〇頁 (縦書頁) *吉

田公平・早坂俊廣・鶴成久章・藤井倫明・尾崎順一郎・工藤

卓司・伊香賀隆・播本崇史と共著

韓夢鵬『新安理學先覺會言』訳注 其の三、『白山中国学』通
卷二十九号、二〇二三年三月、四一～六二頁（縦書頁） *吉
田公平・早坂俊廣・鶴成久章・藤井倫明・尾崎順一郎・工藤
卓司・伊香賀隆・播本崇史と共著

〈その他〉

佐藤直方『講學鞭策録講義』解説（一）—— 解題、及び、序・
第一条より第二十条に至る——、『東洋学研究』第六十号、
二〇二三年三月、九一～一二九頁（縦書頁）、黒田祐介と共
著

〈研究プロジェクト〉

・科学研究費助成金「『新安理学』の脱構築—中国近世の程朱
闕里における思想の変遷に関する通時的考察—」（研究種目：
基盤研究（B）、課題番号：21H00471）、*研究代表者
・科学研究費助成金「哲学資源としての漢文教材および学び方
の開発に関する基礎的研究」（研究種目：基盤研究（C）、課
題番号：20K02730）、*分担研究者

〈学会活動〉

日本中国學會（会員）、白山中国学会（会長・理事・『白山中国
学』編集委員）、中国文史哲研究会（会員）、東洋古典學研究
会（会員）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法（春学期）

中国学概論A（I部） *第一回から第七回担当

東洋思想文化演習 I⑩A B

中国哲学史A B（I部）

中国哲学特講A B

大学院：中国哲学特論Ⅲ（博士前期課程）

中国哲学演習Ⅱ（博士前期課程）

中国哲学研究指導Ⅲ（博士前期課程）

中国哲学特殊研究Ⅲ（博士後期課程）

中国哲学研究指導Ⅲ（博士後期課程）

○大学管理運営活動

大学院文学研究科中国哲学専攻長・東洋大学東洋学研究所運営
委員・同編集委員

白井 順

○研究活動

〈論文〉

「吉田英厚『辨妄』について—明治期の崎門学派の二断面」、『東
洋思想文化』第十号、二十一～五十一頁、二〇二三年三月

〈基調講演〉

「明治の崎門学派—細野要廬」二〇二三年七月二十九日開催、
第二十五回白山中国学会

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会（会員）／日本道教学会（会員）／東方学会（地区委員）／朝鮮学会（会員）／韓国思想史学会（委員）／白山中国学会（理事）／日本儒教学会（評議員）／日本思想史学会（会員）／大阪市立大学中国学会（会員）／九州大学中国哲学研究会（会員）／九州中国学会（会員）／阪神中哲談話会（会員）／近現代東北アジア地域史研究会（会員）

〔研究プロジェクトへの参加〕
科学研究費補助金（基盤研究C）「秋山罷斎の基礎的文献研究」
（課題番号 21K00055、研究代表者）

○教育活動

〔学内担当科目〕

学部：中国文献学A B（I部・II部）

中国語I A I A B（II部）

中国学概論（I部、秋学期第九回～第十五回）

中国学研究法（I部・II部、春学期）

東洋思想（I部・II部、秋学期）

近代化と東洋（I・II部乗り入れ、秋学期）一回担当

〔東洋学と近代〕（十月十二日、七時限）

大学院：中国哲学演習I A B（博士前期課程）

中国哲学研究指導I V A B（博士前期課程）

中国哲学特殊研究V A B（博士後期課程）

中国哲学研究指導V A B（博士後期課程）

○大学管理運営活動

文学部内外国語委員会委員／文学部カリキュラム検討委員会委員／文学研究科自己点検委員／学術書コレクション構想ワーキンググループ

○社会的活動

校友会公開講座「東アジアと三國志演義」〔二〇二三年十月六日、十月二十日〕

沼田 一郎

○研究活動

〔翻訳〕

『マハーバーラタ』第十二卷「ラージャタルマ章」訳注（1）

『東洋思想文化』一〇、二〇二三年三月、九九～一六頁。

〔学会活動〕

所属学会ならびに役職

日本南アジア学会（会員）／日本印度学仏教学会（理事、会員）

／日本佛教学会（会員）／アジア法学会（会員）／国際井上

円了学会（会員）

○教育活動

〔学内担当科目〕

学部：東洋思想文化演習I A B（I部）

サンスクリット語I A B

インド思想特講I A（I部）

インド思想特講ⅠA（Ⅱ部）

インド思想史A・B（Ⅰ部）

レポート・論文制作の技法（Ⅱ部）

大学院・インド哲学特殊研究ⅢA・B

インド哲学研究ⅠA・B

○大学管理運営活動

文学部東洋思想文化学科第Ⅰ部学科長・東洋学研究所運営委員・

編集委員

野間 信幸

○研究活動

〈論文〉

「井上円了『台湾紀行』所載漢詩試訳」（『井上円了センター年報』

第三二号、東洋大学井上円了哲学センター、二〇二四年三月

一七日予定）

〈その他〉

「台湾縦貫鉄道に乗って——井上円了の漢詩紀行」（『アジアの

鉄道路線整備と社会教育の拡充——井上円了の日本・アジア

における遊説再考』ACRIリサーチ・ペーパー・シリーズ

第二九冊、三九〜四二頁、東洋大学アジア文化研究所

二〇二三年二月二八日）

鍾肇政先生からの手紙（全七信収録）（『鍾肇政全集』第三八冊（全

四二冊）、三二七〜三三三頁、桃園市政府、二〇二二年七月）

「針生少年の見た武漢の景色」（『日本語言文化論叢——華中科

技大学日語系建系二〇周年記念）、一五一〜一六六頁、武漢

大学出版社、二〇一九年一月）

〈研究発表〉

「井上円了の台湾体験を巡って（Ⅱ）」（『アジア文化研究所

第一八回年次集会「記念講演」、東洋大学スカイホール、

二〇二四年一月二〇日）

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会（会員）／日本台湾学会（会員）／天理台湾学会

（理事）／日本現代中国学会（会員）／白山中国学会（理事）

／中国文芸研究会（会員）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法③（Ⅰ部・春学期）

中国文学史A・B（Ⅰ部）

東洋思想文化演習ⅠA・B（Ⅰ部）

中国文学特講ⅠA・B（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）

中国学概論B（Ⅰ部・秋学期前半）

中国文学史A・B（Ⅱ部）

総合ⅧB（校友会寄附講座、オムニバス授業、秋学期

十月十四日担当）「円了の台湾巡講」南船北馬（台

湾巡講）」

大学院・中国文学特論ⅠA・B・中国哲学研究指導ⅡA・B（前期課程）

中国語学研究ⅠA・B（前期課程）

中国哲学特殊研究ⅠA・B・中国哲学研究指導ⅠA・

B（後期課程）

○大学管理運営活動

アジア文化研究所運営委員／井上円了哲学センター運営委員

○社会的活動

アジアセンター21（維持会員）

橋本 泰元

○研究活動

〈所屬学会ならびに役職〉

日本印度学佛教学会（会員）／日本宗教学会（会員）／日本南

アジア学会（会員）／日本佛教学会（会員）

〈研究プロジェクトへの参加〉

科学研究費助成金「インド・ヴリンダーヴァンのチャイタニ

ヤ派における理論と実践の相互補完的研究」（二〇二〇年度

基盤研究（C） 課題番号20K00061 研究代表者） 九月三日

～九月一四日ヴリンダーパンのチャイタニヤ派におけるクリ

シュナ信仰聖地と儀礼の实地調査およびパナーラスにおける

主要なクリシュナ寺院の調査と聞き取り調査を実施。

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法②（Ⅰ部）

インド思想史A・B（Ⅱ部）

ヒンディー語A・B（Ⅰ・Ⅱ部）

東洋思想文化演習2ⅠA・B（Ⅰ部）

東洋思想文化演習2ⅡA・B（Ⅰ部）

東洋思想文化演習ⅠⅠA・B（Ⅱ部）

東洋思想文化演習ⅠⅡA・B（Ⅱ部）

卒論指導8A・B（Ⅰ部）

卒論指導ⅠA・B（Ⅱ部）

仏教の芸能（秋学期、コメディネーター）（Ⅱ部）

文学部伝統文化講座（TDB）「聲明公演」（事前講義

十一月一日、公演開催十一月二五日）

大学院・インド哲学研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅲ（前期課程）

インド哲学特殊研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅱ（後期

課程）

○大学管理運営活動

東洋大学東洋学研究所研究員・運営委員／文学研究科図書館運

営委員長

○社会的活動

団体役員等

（特財）大法輪石原育英会評議員

堀内 俊郎

○研究活動

〈論文〉

“Madhyamaka vs. Yogācāra: A Previously Unknown Dispute in Vimalamitra’s Commentary on the *Heart Sūtra*,” *Religions* 2023, 14 (3), 327.

“What are the “Purposes” of Buddhist Sūtras? From Vasubandhu’s *Logic of Exegesis (Vyākhyānyukti)*,” *Journal of Indian Philosophy* 51, 539-566 (2023)

「菩薩が目指すものーヴィマラミトラの『般若心経注』後半部よりー」『東洋学研究』六十号、二四三ー二六六頁、三月二十四日

〈学会発表等〉

「Textcritical Remarks on the Sanskrit text of the *Ravanadhyaesandhavarivarta*, vv. 32-44, of the *Lankāvatārasūtra*」日本印度学仏教学会第七十四回大会（於 龍谷大学（オンライン））九月二日

「經典の目的とは何か？世親の『經典解釈方法論（『釈軌論』）』より」東洋学研究所二〇二二年度第二回研究発表例会（オンライン）十月二十一日

（講評）宮本久義「ヒンドゥー教における女神信仰の展開ー聖地カーマキーヤの縁起譚を中心にしてー」東洋学研究所二〇二二年度第三回研究発表例会（オンライン）十一月

二十五日

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本印度学仏教学会（会員）／日本佛教学会（会員・理事）（十月二日～）／仏教思想学会（会員・評議員）（四月～）／（般財）東方学会（会員・学術委員）（七月～）／日本南アジア学会（会員）／日本西蔵学会（会員）

〈研究プロジェクトへの参加〉

科学研究費（若手研究B）「『楞伽経』第2章のサンスクリットテキスト校訂ならびに訳注、思想研究」課題番号16K16697、研究代表者（～三月三十一日）

科学研究費補助金（基盤研究C）「世親作『釈軌論』の総合的研究」課題番号17K02224（研究代表者・上野牧生）研究分担者

○教育活動

〈学内担当科目〉

学 部：仏教思想概論A・B（I・II部）

サンスクリット語II A・B（I部）

レポート・論文制作の技法（I部、春学期）

東洋思想文化演習I・II A・B（I部）

仏教思想特講IA・大乘仏教の思想I（I・II部）

東洋の身体論（I・II部）（一回担当）「律の身体性ー

出家修行者の行儀」（五月十日、七限）

大学院：インド仏教研究III A・B・仏教学研究指導IA・B（博

士前期課程)

仏教学特殊研究 I A・B・仏教学研究指導 I A・B (博士後期課程)

○大学管理運営活動

東洋大学東洋学研究所 (研究員・運営委員)

山口 し のぶ

○研究活動

〈論文〉

「バリ・ヒンドゥー教のサンスクリット儀軌 Vedaparikrama (Wedaparikrama) —儀軌の概要および部分訳 (2)」『東洋思想文化』第一〇号、一四六(七二)〜二一九(九八)、二〇二三年三月

〈学会活動〉

地球システム・倫理学会第十九回学術大会実行委員長およびシンポジウム「多様性を問う—人文・自然・社会の視点から」モデレーター (二〇二三年十一月十一日、東洋大学一二五記念ホール)

〈所屬学会ならびに役職〉

日本印度学仏教学会 (会員) / 日本宗教学会 (会員) / 日本南アジア学会会員 / 日本佛教学会 (会員) / 日本西蔵学会 (会員) / 密教図像学会 (会員) / 東海印度学仏教学会 (会員) / 東南アジア学会 (会員)

〈研究プロジェクトへの参加〉

科学研究費補助金 (基盤研究 C) 「インドネシア、バリ・ヒンドゥー儀礼におけるインド宗教の受容と変容に関する研究」 (研究代表者、JP 19K00064)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・東洋思想文化演習Ⅱ⑦ A・B (I部)

卒論指導 A・B ⑦ (I部)

インド・仏教の美術 A・B (I部)

チベット仏教のあゆみ (I部 春学期)

チベット仏教のあゆみ (II部 春学期)

伝統文化講座 (第一、五、十一、十三、十五回およびコーディネート担当)

近代化と東洋 (I・II部)

近代化と東洋 (I・II部 乗り入れ、秋学期) 一回担当

「近代化とチベット」(十月十八日、七時限)

総合Ⅷ B 1 (校友会寄附講座) 一回担当 「日本の近代化と東洋大学—井上円了の哲学と実践—」(I・II部)

乗り入れ 「哲学館からチベットへ—明治の取経僧・

河口慧海と能海寛」十一月二十五日、五時限) 一回担当

大学院：インド仏教研究Ⅳ A・B、仏教学研究指導Ⅱ A・B (前期課程)

仏教学特殊研究Ⅱ A・B、仏教学研究指導Ⅱ A・B (後

期課程)

期課程)

○大学管理運営活動

東洋大学文学部長／東洋大学評議員／東洋大学理事／東洋大学
東洋学研究所研究員・運営委員／東洋大学アジア文化研究所
研究員

二〇二三年度開講科目

・授業名、サブタイトル、担当者の順に記す。

・通年科目はA（春学期）・B（秋学期）に分かれるが、担当者が同一であり、かつ、サブタイトルが春秋通じて同一の場合、その区分は省略して記した。

・ただし、半期のみ授業については《春》《秋》と表記した。

・担当者および《春》《秋》の授業区分に付したカッコ内の数字は、それぞれⅠ部・Ⅱ部の区別を示す。カッコ内の数字が付されていないものは、Ⅰ部Ⅱ部隔年開講の科目か、Ⅰ部・Ⅱ部の担当者が同一であることを示す。

〈学部〉（五十音順）

東洋思想文化学科

アジアの古典（インドの古典に触れる）

宮本 城

アジアの文学（女性が描く、女性を描く台湾文学）

橋本恭子

インド現代思想《春》（ガーンデーとアーンベードカル）その

の思想と対立）

石川 寛（Ⅱ）

インド古典思想概論A／インド古典哲学A／インド古典哲学I

（ヴィシヌ派の思想と展開）

三澤祐嗣

インド古典思想概論B／インド古典哲学B／インド古典哲学Ⅱ

（シヴァ派の思想と展開）

三澤祐嗣

インド思想史A B（インド思想と宗教の潮流を概観する）

橋本泰元（Ⅱ）

インド思想史A（インド思想と宗教の潮流を概観する）

沼田一郎（Ⅰ）

インド思想史B（インドの叡智を探る）

沼田一郎（Ⅰ）

インド思想特講ⅠA／インド文化論ⅡA／古代インドの社会

《秋》（道徳・財・愛欲のインド文化史）

沼田一郎

インド思想特講ⅠB／インド文化論ⅡB／インドの風土と文化

《秋》（インドの歴史と文化）

石川 寛

インド思想特講ⅡA《春》（インドの歴史と文化）

石川 寛

インド思想特講ⅡB／ヨーガとアーユルヴェータ《秋》（サ-

ンキヤ思想とその展開）

三澤祐嗣（Ⅱ）

インド仏教史A／インド仏教のあゆみA（ブッダの覚りとその

展開）

藪内聡子

インド仏教史B／インド仏教のあゆみB（大乘仏教とは何か）

インド・仏教の美術A（仏教の仏と神々の図像学的考察）

藪内聡子

インド・仏教の美術B（南アジアのヒンドゥー美術）

山口しのぶ（Ⅰ）

インド・仏教の美術A／インド美術を見る（シルクロードの仏

教美術史概論）

樋山智美（Ⅱ）

インド・仏教の美術A／インド美術を見る（シルクロードの仏

教美術史概論）

樋山智美（Ⅱ）

インド・仏教の美術B／仏教美術を見る（シルクロードの美術と東西文化交流） 檜山智美（Ⅱ）

インド文化概論A《春》（大叙事詩『マハーバーラタ』のインド世界をたずねる） 村山和之

インド文化概論B《春》（文学を通して見るインド文化） 宮本 城

韓国語A B

佐藤 厚

韓国仏教史《秋》

佐藤 厚（Ⅱ）

漢文訓読法①《秋》（漢文読解の手ほどき）

播本崇史（Ⅰ）

漢文訓読法②《秋》（漢文法の基礎知識）

川田 健（Ⅰ）

漢文訓読法②《秋》（漢文法の基礎知識）

坂井多穂子（Ⅱ）

基礎中国語A①《春》（異なる体系との出会い） 多田 恵（Ⅰ）

基礎中国語B①《秋》（異なる体系への取り組みを進める） 多田 恵（Ⅰ）

多田 恵（Ⅰ）

基礎中国語A②（中国語初心者のための授業） 橋本恭子（Ⅰ）

基礎中国語A③

権 慧（Ⅰ）

基礎中国語A B（初級中国語）

大江千晶（Ⅱ）

キリスト教概論／キリスト教とは何か《春》（キリスト教誕生

に至る歴史とキリスト教思想の基礎）

山中利美（Ⅰ）

近代化と東洋《秋》（東洋は近代化をどのように受け止めたか

〈オムニバス形式〉）

伊吹 敦

現代に生きる仏教《秋》（人権の歴史をめぐる仏教者のかかわ

りに学び、現代社会の排除と包摂を考える）

小林惇道（Ⅰ）

現代に生きる仏教《秋》（社会課題への仏教者のかかわりに学ぶ）

小川有閑（Ⅱ）

現代のインド《秋》（ガンディーとアーンベードカル／その

思想と対立）

石川 寛

坐禪／坐禪のころ《春》（「いま」に気付く）

眞如晃人

サンスクリット語ⅠA B（古典サンスクリット入門） 沼田一郎

サンスクリット語ⅡA B（実践サンスクリット中級） 堀内俊郎

写経／写経のころ《春》

張堂興昭

宗教学ⅠAⅠ（秘教とは何か？ユダヤ神秘主義カバラ）

永井 晋（Ⅰ）

宗教学ⅠBⅠ（秘教とは何か？世界の秘教）

永井 晋（Ⅰ）

宗教学ⅠA B 2（旧約聖書・預言書を読む） 小林 剛（Ⅰ）

宗教学ⅠA（南アジアにおける宗教思想と神観念）

三澤祐嗣（Ⅱ）

宗教学ⅠB（南アジアの宗教思想と死生観）

三澤祐嗣（Ⅱ）

宗教学ⅡA（宗教学の基礎知識を学ぶ）

水谷香奈（Ⅰ）

宗教学ⅡB（仏教をはじめとするアジアの諸宗教・思想における

る死生観の変遷）

水谷香奈（Ⅰ）

宗教学ⅡA（日本人と宗教の関わり・伝統、そして現代）

吉村 均（Ⅱ）

宗教学ⅡB（宗教と言語、道徳）

吉村 均（Ⅱ）

宗教学概論A／宗教とは何かA（多様な教理と実践の世界）

島田茂樹

宗教学概論B／宗教とは何かB（華麗なる文化と芸術の世界）

島田茂樹

宗教社会学A

松野智章

宗教社会学B

松野智章

上級中国語A B／中国語V A B①（中国語の作文）

阿部順子（I）

上級中国語A B②（中国語長文読解）

田中路子（I）

上級中国語A B／中国語V A B①（中国語の作文）

多田 恵（II）

神道史A（日本文化における仏と神）（I）

伊藤 聡

神道史B（日本中世の仏教と神祇）（2）

伊藤 聡

総合ⅣA B①（日本の近代化と東洋大学―井上円了の哲学と実践―（オムニバス形式））

関 直規

チベット語A／チベット文献を読むA（古典チベット語文法）

石川美恵

チベット語B／チベット文献を読むB（『法華経普門品』（観音経）を読む）

石川美恵

チベット仏教史／チベット仏教のあゆみ《春》

山口しのぶ

中級中国語A B／中国語IV A B（中国語のヒアリング能力を高める）

荒井 礼（I）

中級中国語A B／中国語IV A B（中国語の会話能力を高める）

権 慧（I）

中級中国語A／中国語IV A（聴解の基礎）

多田 恵（II）

中級中国語B／中国語IV B（スピーキングの基礎を培う聴解）

多田 恵（II）

中国学概論A（中国学への誘い）

中国学概論B（中国学への誘い）

中国学概論A B（中国思想文化―入門と手ほどき―）

播本崇史（II）

中国学研究法A（中国哲学研究の基礎知識）

白井 順

中国学研究法B（中国学の基礎知識を学ぶ）

坂井多穂子

中国現代文学史A B（中国二〇世紀文学の歩み）

田中路子

中国語学演習A（日本語文法書を中国語で読む）

川田 健

中国語学演習B（中国語で書かれた、中国語文法に関する論文の講読）

川田 健

中国史概説A／中国史概説A（中華世界の拡大と再生）

竹内洋介

中国史概説B／中国史概説B（「華夷一家」への道）

竹内洋介

中国哲学講読A B②（『天道溯源』講読）

中村 聡（I）

中国哲学講読A B（朱熹『論語集注』講読）

播本崇史（II）

中国哲学史A B（中国における「哲学」の姿）

小路口聡（I）

中国哲学史A B（中国における「哲学」の姿）

坂本頼之（II）

中国哲学特講I A／中国哲学特講A（原典資料で読む朱子学概論）

小路口聡

中国哲学特講I B／中国哲学特講B（原典資料で読む陽明学概論）

小路口聡

- 中国の美術 A (先史～南北朝時代の中国美術) 篠原典生 (I)
 中国の美術 B (隋唐～明清時代の中国美術) 篠原典生 (I)
 中国の美術 A B (中国の仏教・道教を中心とした宗教美術史) 田中知佐子 (II)
 中国仏教史 A / 中国仏教のあゆみ A (初伝期から南北朝まで) 伊吹 敦
 中国仏教史 B / 中国仏教のあゆみ B (隋代から現代まで) 伊吹 敦
 中国文学史 A (先秦から唐代の文学の諸相) 野間信幸
 中国文学史 B (先秦から唐代の文学の諸相 (後半)) 野間信幸
 中国文学講読 A B ② (『唐詩三百首』を読む) 坂井多穂子 (I)
 中国文学講読 A B (中国文学を鑑賞する) 新井 礼 (II)
 中国文学特講 I A B (台湾の歴史を知り、文学作品を読む) 野間信幸 (I)
 中国文学特講 I A B (中国近現代文学を読む) 近藤光雄 (II)
 中国文献学 A (中国の文献を知るための基本知識) 白井 順
 中国文献学 B (中国書誌学の基礎知識) 白井 順
 哲学概説 A (自分の頭で考えて、自分の言葉で伝えるということ) 渡邊郁子 (II)
 と) 渡邊郁子 (II)
 哲学概説 B (自分の頭で考えて、主体的に行動するということ) 渡邊郁子 (II)
 東西交渉文化史 A / 東西交渉史 A (テュルク近現代史 I (中央ユーラシア・日本) 小野亮介

- 東西交渉文化史 B / 東西交渉史 B (テュルク近現代史 2 (オスマン帝国・トルコ共和国) 白井 順
 東洋思想《秋》(中国の思想家たち) 白井 順
 東洋思想文化演習 I・II ① A B (インド哲学の原典を読む) 沼田一郎
 東洋思想文化演習 I ①② A B (ヒンドゥー教の思想・文化研究 I) 橋本泰元
 東洋思想文化演習 II ①② A B (ヒンドゥー教の思想・文化研究 II) 橋本泰元
 東洋思想文化演習 I・II ② A B (日本・中国に関する仏教文献の講読) 水谷香奈 (II)
 東洋思想文化演習 I・II ④ A B (日本・中国に関する仏教文献の講読) 水谷香奈 (I)
 東洋思想文化演習 I ④ A (漢詩を読む) 近藤光雄 (II)
 東洋思想文化演習 I ④ B (新詩を読む) 近藤光雄 (II)
 東洋思想文化演習 II ④ A B (『国語』の読解を通じて訓詁の基本を学ぶ) 川田 建 (II)
 東洋思想文化演習 I・II ⑥ A (仏教文献の読解) 伊吹 敦 (I)
 東洋思想文化演習 I・II ⑥ B (自由研究) 伊吹 敦 (I)
 東洋思想文化演習 I・II ⑦ A B (アジアの芸術文化に関する英語文献講読) 山口しのぶ (I)
 東洋思想文化演習 I ⑩ A (朱熹『孟子集注』尽心章句上精読 (その I)) 小路口聡 (I)

東洋思想文化演習Ⅰ⑩B (朱熹『孟子集注』) 心路上篇精読(その2)

小路口聡(Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅱ⑩A B (『国語』の読解を通じて訓詁の基本を学ぶ)

川田 建(Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅰ⑪A B (中国の詩を中国語で読み、平仄分析する)

野間信幸(Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅱ⑪A (笑語を読む)

坂井多穂子(Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅱ⑪B (伝奇を読む)

坂井多穂子(Ⅰ)

東洋思想文化特講ⅠA《春》(東アジアの植物文化と芸術)

久保輝幸(Ⅰ)

東洋思想文化特講ⅠB《秋》(漢方と本草学)

久保輝幸(Ⅰ)

東洋思想文化特講ⅡA《春》(インドの芸能と社会)

小尾 淳(Ⅱ)

東洋芸術文化特講ⅡB《春》(文化人類学の視点にもとづき、今日におけるバリ島の芸能のあり方を学び、人間の創造性に触れる)

山本早良紗(Ⅱ)

東洋の身体論《春》(こころとからだをどう見るか) (オムニバス形式)

伊吹 敦

日本漢学A B (日本では漢学を如何に学んで来たのか)

坂本頼之

日本仏教史A / 日本仏教のあゆみA (日本仏教史(飛鳥時代) 鎌倉時代)

水谷香奈(Ⅰ)

日本仏教史B / 日本仏教のあゆみB (日本仏教史(鎌倉時代)

水谷香奈(Ⅰ)

現代)

水谷香奈(Ⅰ)

日本仏教史A / 日本仏教のあゆみA (日本における仏教のあゆみと社会・文化——仏教伝から平安時代まで——)

橋川智昭(Ⅱ)

日本仏教史B / 日本仏教のあゆみB (日本における仏教のあゆみと社会・文化——鎌倉時代から明治時代まで——)

橋川智昭(Ⅱ)

ヒンディー語A / ヒンディー文献を読むA《春》(ヒンディー語入門Ⅰ)

橋本泰元

ヒンディー語B / ヒンディー文献を読むB《秋》(ヒンディー語入門Ⅱ)

橋本泰元

仏教漢文A《春》(仏教漢文の基礎)

伊吹 敦

仏教漢文B《秋》(經典注釈・浄土教文献を読む)

伊吹 敦

仏教思想概論A B / ブッダの思想とその展開A B (A 仏教とは何か? / B 仏教の思想とその展開)

堀内俊郎

特講ⅠA / 大乘仏教の思想Ⅰ《春》(空思想入門)

堀内俊郎

仏教思想特講ⅠB / 華嚴の思想《春》(『大乘起信論』の哲学——東アジア華嚴思想の基礎)

橋川智昭

仏教思想特講ⅡA / 禪の思想《春》(禪思想の形成と社会との交渉)

伊吹 敦

仏教思想特講ⅡB / 密教の思想《秋》(密教の思想)

金本拓士

仏教思想特講ⅢA / 初期仏教の思想《秋》(初期仏教の思想)

戴内聡子

仏教思想特講ⅢB／念仏の思想《秋》（浄土思想（特に阿弥陀信仰）の形成・展開とその影響） 水谷香奈（Ⅰ）

仏教と社会福祉／現代社会に生きる仏教A《春》（いのち）に
向き合う仏教者の活動に学ぶ） 小林惇道（Ⅰ）

仏教と社会福祉／現代社会に生きる仏教A《春》（現代社会の
諸問題に向き合う仏教者の活動に学ぶ） 春本龍彬（Ⅱ）

仏教の芸能《秋》（仏教伝統歌謡の基本を学び実修してみよう）
《オムニバス形式》 橋本泰元（Ⅱ）

ヨーガ／ヨーガのころころ《春》（ヨーガの実践を通して思想を
体感する） 番場裕之（Ⅱ）

レポート・論文制作の技法①《春》 坂井多穂子（Ⅱ）

レポート・論文制作の技法②《春》 橋本泰元（Ⅰ）

レポート・論文制作の技法③《春》（卒業論文への第一歩） 沼田一郎（Ⅱ）

レポート・論文制作の技法④《春》 野間信幸（Ⅰ）

レポート・論文制作の技法⑤《春》 小路口聡（Ⅰ）

レポート・論文制作の技法⑥《春》 川田 健（Ⅰ）

〈大学院〉
インド哲学仏教学専攻
博士前期課程

インド哲学研究ⅠA・B・インド哲学研究指導ⅡA・B（サンスク
リット文献研究） 沼田一郎

インド哲学研究ⅡA・B・インド哲学研究指導ⅢA・B（中世イン
ド思想の研究） 橋本泰元

インド哲学研究ⅣA（シヴァ教の歴史・思想・実践） 高島 淳

インド哲学研究ⅣB（シヴァ教文献研究） 高島 淳

インド哲学仏教学特殊演習A（Introduction to Studying
Buddhism in English） 伊藤 真

インド哲学仏教学特殊演習B（Further Steps in Studying
Buddhism in English） 伊藤 真

インド仏教研究ⅡA（パリー文献研究） 林 隆嗣

インド仏教研究ⅡB（上座部仏教の論書研究） 林 隆嗣

インド仏教研究ⅢA・B 堀内俊郎

インド仏教研究ⅣA（インド密教経典研究） 山口しのぶ

インド仏教研究ⅣB（インド密教儀軌研究） 山口しのぶ

インド仏教研究ⅤA（大乘仏典成立史） 田中公明

インド仏教研究ⅤB（インド密教史） 田中公明

東アジア仏教研究ⅠA・B（禪宗思想研究） 伊吹 敦

東アジア仏教研究ⅢA・B（浄土教研究―法然撰『選択集』の輪
読―） 林田康順

博士後期課程

インド哲学研究指導ⅡA・B・インド哲学特殊研究ⅡA・B（中世
インド思想の研究） 橋本泰元

インド哲学研究指導ⅢA・B・インド哲学特殊研究ⅢA・B（イン
ド思想の研究） 橋本泰元

下思想、宗教、文学の研究指導)

沼田一郎

仏教学研究指導ⅠA B・仏教学特殊研究ⅠA B

堀内敏郎

仏教学研究指導ⅡA B・仏教学特殊研究ⅡA B (インド密教に

おける宗教行為の研究)

山口しのぶ

仏教学研究指導ⅣA B・仏教学特殊研究ⅢA B (博士論文の作

法)

伊吹 敦

博士後期課程

中国哲学特殊研究ⅠA B・中国哲学研究指導ⅠA B (井上円了

「台湾紀行」漢詩講読)

野間信幸

中国哲学特殊研究ⅡA B・中国哲学研究指導ⅡA B (在米華人

作家、李翊雲の作品講読)

大野公賀

中国哲学特殊研究ⅢA・中国哲学研究指導ⅢA (自立的研究者

への道(1))

小路口聡

中国哲学特殊研究ⅢB・中国哲学研究指導ⅢB (自立的研究者

への道(2))

小路口聡

中国哲学特殊研究ⅣA B・中国哲学研究指導ⅣA B (題跋)

からみる欧陽脩の文学観)

坂井多穂子

中国哲学特殊研究ⅤA B・中国哲学研究指導ⅤA B (『読書録』

の講読)

白井順

中国哲学専攻

博士前期課程

中国哲学演習ⅠA B・中国哲学研究指導ⅣA B (『朱子学的』
の講読)

白井 順

中国哲学演習ⅡA B・中国哲学研究指導ⅢA B (山崎闇斎編『大

家商量集』上巻精読)

小路口聡

中国文学演習ⅠA B・中国哲学研究指導ⅤA B (『源氏物語』

中国語訳の比較研究)

大野公賀

中国哲学研究ⅠA B (大同思想の研究)

中村 聡

中国哲学特論ⅢA B (陽明後学研究——王心齋『重鐫心齋王先

生文集』巻三「論説」精読——)

小路口聡

中国文学特論ⅠA B・中国哲学研究指導ⅡA B (張文環作品講

読)

野間信幸

中国文学特論ⅡA B・中国哲学研究指導ⅠA B (楊萬里詩研究)

坂井多穂子

中国文学特論ⅢA B (比較文学の方法論 日本と中国を中心に)

有澤晶子

中国語学研究ⅠA B (張文環『地平線の燈』の判読) 野間信幸

中国語学研究ⅡA B (21世紀の比較文学) 橋本恭子

二〇二三年度東洋思想文化学科卒業論文題目

〈I部〉

- | | | | |
|--------|-----------------------------------|--------|--|
| 太田 俊輝 | 聖徳太子信仰の展開―親鸞の太子への思い― | 藤田 碧 | 界とは
バリ島におけるヒンドゥー教の受容と発展 豊富
な水源と「聖水」 |
| 齊藤 航輝 | 創価学会と池田大作 | 吉田 桜子 | サーンキヤ哲学と比較思想 ―『Mahabharata』
におけるサーンキヤ思想― |
| 野口 優 | 『下牛図』から見る真実の自己 | 佐藤 海周 | 剣道の歴史とフェンシングの比較 ―武士道と騎
士道― |
| 福田 渉華 | 中国の仏教思想理解について―『理惑論』を中心
として― | 紅本 光 | インドで自動車産業を成功させるには |
| 細野 真由 | 日本人の地獄思想の変容 | 山田 愛結 | 戦後日本歌謡史における「アイドル」観の変容に
関する研究 |
| 木村 陸人 | 題目板碑に見る日蓮宗門徒の信仰―日蓮自身の思
想と比較して― | 小名野 秀貴 | 「Turn on, tune in, drop out」〜ヒッピームーブ
メントとインド文化〜 |
| 川合 鼓乃 | 現代日本における仏教と医療 ―連携の可能性― | 柴原 悠里 | インドにおけるスポーツ文化の発展 ―Jリーグ
をモデルとした比較研究― |
| 根本 咲希 | 空海の即身成仏義の思想と現代的な意義 | 鈴木 美馨 | インドラ神の神格と派生について ―インドラは
なぜ仏教に受け入れられたか― |
| 小山 波里乃 | 現代に生きる妖怪 | 星山 智晃 | インドの文化や思想によってインドがフィットネ
ス大国になる可能性 |
| 近内 翔太 | 杉本五郎『大義』に見る仏教と国体 | 宮島 海斗 | ビートルズはなぜインドを選んだのか |
| 本多 愛音 | ラフカディオ・ハーンと仏教 | 宮越 万里 | インドの女性の社会における地位とその結婚事情 |
| 古川 譲一 | 古代から中古における「穢れ」の変容 | 佐久間 春世 | 円了の妖怪学と〈妖怪〉啓蒙的実践がめざしたも
の |
| 垣内 惇 | 「禅文化」としての庭園とお茶の創成 | | |
| 荒井 樹音 | 超国家主義者一石笑莞爾の淵源 | 吉良 侑 | インドのカーブ制度の歴史と現状及び制度がも
の |
| 杉山 琴美 | 大宰治とコミュニケーション | | |
| 根津 香菜子 | 『記』―古の伝説から見るゲームと文化 | | |
| 渡邊 襟可 | ヒンドゥー教・仏教・キリスト教の考える死後世 | | |

たらず現在の社会問題

田中 萌音 ムガル帝国におけるヒンドゥー教とイスラーム教の共生について

高松 愛梨 カリー女神信仰の形成と展開について

古市 海斗 インドにおけるカースト制度と教育制度の関係性

醍醐 桜 ムガル細密画における写実性の研究 ―ジャハー

谷垣 萌花 ンギール派の画家の細密画を中心に―

鎌田 翔勸 フィットネス・ヨガとヒンドゥー教が説くヨーガの

清水 秀効 違いについて

五十嵐 竜也 原始仏教における戒・定・慧の悟りのメカニズム

鬼追 雄大 の可視化 ―認識プロセス・煩惱・修行の相関の

象田 一路 観点から―

王羲之の書の特徴とその現代的意義

自然における女人往生についての一考察

日本の宗教教育と宗教的情操の定義と課題

『道徳』の教科化から宗教を教えることができる

か、

『ニヤーヤ・バーシユヤ』の論理的諸問題―命題

論理・述語論理による分析―

無宗教日本人における宗教知識の必要性

六道絵における「恐怖」の可視化とその役割

坂元裕二脚本に描かれる母子像とハリーティー

インドにおける女性差別と克服に向けた展望―

伝統の衰退と継承―

奥平 百恵 チベット死者の書が西洋に与えた影響

折出 遥香 水墨画の実態とその考察

川西 航平 兵馬俑の特色と奏の始皇帝との関係性

高野 広人 アイヌ信仰・文化から学ぶ考え方―日本の問題解

決を目指して―

八講 美友 東南アジア諸島の住居について(フィリピンの住

まいを中心とする)

魏 鳳暹 文化を広めるためのゲームの活用―原神を例とし

て

遠間 詠淳 ジャポニスムの歴史とその変遷 ―服飾を中心に

望月 志歩 日本における戒・定・慧の悟りのメカニズム

宮田 美保 日本におけるカースト制度と教育制度の関係性

田中 未菜 見られる美意識―

野村 莉沙 インドの民族衣装から見る民族性

バリ島のケチャダンス ―文化的背景と宗教的な

意義について

武谷 栞 楊貴妃は悪女であったのか

須長 あゆみ 『平家物語』と『三国志演義』における義の意義

の比較

尾上 侑香 大観園での日常―『紅楼夢』の韻文表現に読み取

る未来

張 梓てい 『紅樓夢』における林黛玉と晴雯の比較

林 延松 『夷堅志』における殺生応報説話について

小幡 大輝 古代中国の死生観について——脳死・心臓移植と安楽死について考察——

金 肇新 朱熹『大学章句』の八条目における「誠意」と「正心」の関係

CUI ZHIKAI 雲南における李贄の政治活動

仲野 聡 現代に活かす『論語』

安井 翔大 人間はいかにして道徳心を身につけるのか

幸野 悠飛 中国の武術・武道と日本の武術・武道の違い

三瓶 健士郎 日本文化における龍の表象に関する考察——中華文化圏からの影響を視座に——

山田 莞爾 中国の世界文化遺産の概要と今後の課題について

赤松 優磨 唐代宮廷音楽と外来音楽の関係性

陣内 茉里 『水滸伝』に表象された公私概念——日本人の政治参与の消極性分析の一視点

藤田 彩菜 中国における死生観・死後の考え方の構成

福永 亘 中国と日本における仏教と儒教の関係の比較

小川 智暉 漫画『キングダム』の研究

竹本 享平 中国における怪異像と病 日本との比較を交えて

宮林 萌恵 ネット分断に対する東洋思想アプローチの考察

吉成 優太

斉藤 麗 中国と高齢化

熊谷 侑音 百合マンガから見る台湾と日本のセクシュアルマイノリティの考え方の違い

劉 博聞 中国における日本の特撮の受容 ウルトランマンの成功譚を考察する

嚴 カイエ 嫦娥の伝説が後世の文学創作に与えた影響

中山 悠矢 張愛玲の作品から見るヒロインの生き方

深田 沙紀 中国就活戦争

鈴木 茉莉花 『82年生まれ、キム・ジョン』から見るフェミニズム

鈴木 茉莉花 仏教の終末ケアは無宗教者にとっても有効であるのか

（Ⅱ部）

小泉 亜門 郭熙「早春図」の遠近法と画面構成について

阿部 幸太郎 仏教伝来と受容——日中の受け止めの違いから見えてくるもの

李 沢司 中国唐代詩人の作品における仏教の影響と中国唐代詩人の仏教観

鈴木 廉 日本キリスト教とアメリカの仏教が浸透した理由についての考察

窪田 遥 岡倉天心の生きた時代と『茶の本』

朝日 優太 日本におけるコーヒー文化の発展と需要について

天野 賢吉 柔道と武士道
 吉森 雄飛 日本の社会問題に影響された音楽界の変遷
 松倉 愛美 『マハーバーラタ』第18巻1〜3章における地獄
 の役割 —カルマと運命と王の地獄巡り—
 桑野 寛太 日本のヒップホップ文化におけるラップの発展が
 もたらす可能性
 藤岡 美紀 デイズニープリンセス映画にみられるジェンダー
 表現の分析
 中村 朱里 中世インドにおけるラーマスジャのバクティ思
 想の受容
 齋藤 翼 メタバースとインド哲学 —私達はメタバースを
 どう生きるべきか—
 和泉 深舟 三宝標の表現 —特にガンダラに見られる特異
 性について—
 中野 万結 葬送儀礼の意味 —バリ島「ピトラ・ヤドニャ」
 と日本・チベットの葬儀と比較して—
 結城 健介 近代バリにおける文化の変容について
 長坂 あゆみ 無宗教の日本 —その実態とこれからの課題—
 妹尾 悠矢 日本の代名詞となる植物は何か? —家紋や歴史
 との結びつきからを考察する—
 伊藤 洋介 同字重出の規則を破る近体詩
 村上 高子 則天武后はなぜ女帝になることができたのか
 久保田 桜 現代社会における陽明学及び性善説の意義

西塔 実咲 日本の近代国家建設においての中国思想の受容
 現代の研究者の議論を基にして
 武部 真優 中国哲学における「善悪」と子供の「善悪」理解
 と判断—2つの「善悪」の異なる点について—
 山田 拓弘 『莊子』逍遙遊篇と齊物論篇における郭象の注釈
 について
 菅原 大樹 中国の伝統的恋愛観の追究
 八木 隆史 人間社会における「徳」の有用性—浪沢栄一の思
 想を通して考える—
 井上 亜太夢 諸葛亮と司馬懿の扱いの差について 現代の二人
 の描写を比較して
 佐野 元昭 中国のeスポーツと日本のeスポーツとの比較
 椎名 未来 魯迅と藤野先生—なぜ『藤野先生』を執筆したの
 か—
 大学院中国哲学専攻修士論文
 王 妙華 王心齋「百姓日用即是道」に見られる人間観
 佐藤 瑛 『三国志演義』における張飛像の「卑小化」再考
 辻 大晴 安藤東野小論
 大学院中国哲学専攻博士論文
 志村 敦弘 「吾れ斯の人の徒と与にするに非ずして誰と与に
 せん」の思想 —王陽明思想における「公」と

「見在」――

大学院インド哲学仏教学専攻修士論文

前田 恭介 近代仏教史上における中西牛郎の再評価